



2024年 8月 1日
第17号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第26号

東海道線「早川～根府川間」 レール折損に関する申し入れ団体交渉③

4. 現場における教育・訓練内容等について、充実させること。
【会社回答】必要な教育・訓練は実施している。

組 合	会 社
具体的にはどのようなことをやってきたのか。	6月19日～20日にメンテナンスセンター副長研修を実施。 保線技術センター担当者研修を実施。 各保線技術センターで応急復旧訓練を実施。 本社から各支社へ今回の事象の共有。 グループリーダーや勉強会未参加者にレール探傷車講習を各保 技セで3回実施。
訓練施設「横浜トレーニングセンター」「湘南君」は活用して いるか。	湘南君と横浜トレーニングセンターもかなり使用している。
パートナー会社との合同訓練は実施するのか。	毎回ではないが、本体とパートナー会社合同の訓練を行っている。
信号や他系統との合同訓練は行うのか。	保線と信号の合同訓練は、10年前から久里浜の訓練センター で年1回行っている。
2mレールの交換訓練も実施しているのか？	応急復旧訓練の中で行っている。
今回の事象を受けてか？	そうではなくて、年間計画があって、追加で現場にて内容を決 めている。 <u>現場の判断。</u>
若手への教育はどうか。1人立ちにはどれぐらいの期間がか かるのか。	充実している。7年で1人立ちとなる。
その期間どのように若手を育てているのか。	実際に作業をし、チェックシートで年数別の到達度を確認して いる。
圧をかけることは無いか。	それは無い。【確認！】
訓練のリクエストには応えられるのか。	対応可能である。【確認！】
様々な訓練の内容が水平展開されているか。	水平展開している。展開しなければ意味が無い。【確認！】



全4項目議論終了！



今回の事象を教訓とし、その上での教育・訓練は非常に重要です！
交渉で議論されたことが現場できちんと活かされるよう
JR東労組横浜地本はチェックしていきます！